

むかいやちいくよし こうえんかい
向谷地生良さん講演会

「べてるの家」から生まれた 当事者研究に学ぶ



2023年 1月21日(土) 午後6時～8時30分

会場：さくらホール (国立駅南口徒歩3分商協ビル2階)

当日先着 80人

第1部 講演会「べてるの家から生まれた当事者研究とは」

講師 向谷地生良さん (北海道医療大学特任教授 社会福祉法人浦河べてるの家理事長)

第2部 対談「当事者を孤立させない地域づくり」

べてるの家
むかいやちいくよし
向谷地生良さん



困難を抱える女性支援 Jikka
代表 遠藤良子さん



向谷地生良 (むかいやち いくよし) さん

青森県十和田市出身。

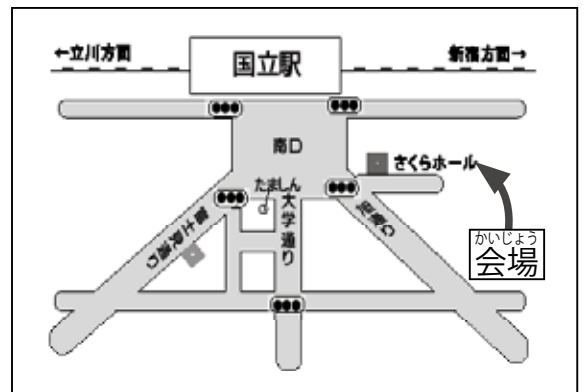
大学を卒業後、1978年4月より北海道日高にある総合病院精神科にソーシャルワーカーとして勤務。精神障害などをもつ当事者と地域活動拠点として「浦河べてるの家」(1984年4月、現社会福祉法人)の設立に参加。

2001年に対話実践として当事者研究を創案、2003年4月より北海道医療大学看護福祉学部で教鞭をとり、国の内外において当事者研究の普及に取り組んでいる。

2021年3月に北海道医療大学名誉教授、4月より大学院、看護福祉学部、先端研究推進センター特任教授に就任、10月に社会福祉法人浦河べてるの家理事長に就任。

- ・北海道医療大学大学院看護福祉学研究所
- ・看護福祉学部福祉マネジメント学科精神保健福祉学講座
- ・先端研究推進センター当事者研究分野

○著書「べてるの家の非援助論」「技法以前」(医学書院) / 「べてるの家から吹く風」(いのちのこば社) / 「新・安心して絶望できる人生」(いのちのこば社) 他多数



遠藤良子 (えんどう よしこ)

自治体女性相談員を16年間勤める。DV、虐待被害女性の支援をする中で、行政での支援の限界を感じ、40年暮らす国立市で、2015年あらゆる女性の困難の相談と解決に取り組む拠点 Jikka を立ち上げる。以降全国から相談が寄せられ、昨年成立した「女性支援新法」を先取りしたパーソナルサポートにおける当事者中心主義と行政との協働が注目されている。

参加費：500円

主催：向谷地生良さん講演会実行委員会 / 連絡先：tel: 090-3804-4991 (押田)

「べてるの家」とは——向谷地さん講演会へのおさそい

- ◆「べてるの家」がある浦河町は北海道の太平洋側の海沿いにある人口12000人ほどの小さな町です。「べてるの家」は、1984年、精神しょうがい等をかかえた当事者の地域活動拠点として設立されました。

向谷地生良さんは「べてるの家」の創立者です。1978年4月に、浦河町にある浦河日赤病院の精神科専属のソーシャルワーカーとして赴任。当初から、従来の精神科医療の考え方に違和感があったそうです。

翌年から、のちに「浦河べてるの家」で、浦河日赤病院精神科を退任して暮らし始めました。

精神病院から出た人たちは、共同生活し、有限会社を立ち上げてきました。その活動の中で、利用者が使う薬の量もぐっと少なくなったとのこと。まさしく「べてるの家」は、国連障害者権利委員会勧告(2022年9月9日)を先駆的に体現してきました。



「べてるの家」と名がつく古い教会堂を改装したメンバーに声をかけ一緒に

向谷地さんとともに浦河の町で働き、当事者活動を展開して、浦河日赤病院の精神科は解体され、

- ◆その「べてるの家」から生まれたのが「当事者研究」です。

創案者の向谷地さんは言います。——研究というと、エライ学者や専門家のイメージがあるが、「べてるの家」では、病院で言われた診断名の他に自分で自分の病名を考え、苦労したことや、うまくいったことなど、日常の暮らしでおきたことを研究の素材にして、自分のことの専門家になる。その経験を分かち合ったり、発表したり、考えた対処のしかたを練習したりする。うまくいった場合は、当事者研究スキルバンクに登録する。そうしたことを通して、回復しなくとも、最悪の事態を回避する方法を個人でも集団としても身につけていく——と。

当事者が地域で生きる実感から生まれたことばには、まさに発想の転換があります。「それで順調!」、「『苦労』が多いから『商売』を」、「『悩む力』をとりもどす」、「弱さの情報公開」、「三度の飯よりミーティング」、「勝手に治すな自分の病気」、「幻聴から幻聴さんへ」、「安心してサボれる職場づくり」、「降りてゆく生き方」など。

- ◆国立市でも障害者権利条約にもとづき、「当事者のことを当事者抜きにきめない」という精神を基本として、「しょうがいしゃがあたりまえに暮らすまち宣言」をしています。重度の身体しょうがいしゃの地域自立生活や、困難を抱えた女性のパーソナルサポートのしくみなど、全国に先駆けてやってきました。

近年、社会環境が悪化し、不寛容な空気が広がる中で、心を病む人が増えてきています。

向谷地さんをお招きして、精神しょうがいしゃがあたりまえに暮らす地域づくりに必要なものは何かお聞きし、ともに考えたいと思います。ぜひご参加ください。

- ◆なお当日は、「べてるの家」でつくっている、昆布製品や、手作りジャム、本やDVDなども販売しますので、ぜひお買い求めください。

